

いききふるさと補助金を使い、幌延町が申請窓口となり3百万円、豊富町が1百万円を支出し実施する。

事業としては、合同観光パンフレットやポスターを作製し、広域の観光資源PRや推進を行う。

佐々木委員 トナカイ観光牧場の新たな取り組みがあるのか伺いたい。

島田主査 トナカイ観光牧場のホームページでブルーポピーの苗木販売に力を入れていきたい。



ブルピー(ホワイトフェスタ)

無量谷委員 問寒別公営住宅解体工事1千万円が計上されているが、何戸分なのか。

渡辺主幹 古い公営住宅

8戸を解体する。

◆消防費◆ 現在設置されている防災行政無線は今後も利用されるのか。また新規の総合行政ネットワークとは何か。

宮古主幹 現在使用している防災行政無線は昭和56年の建設で、耐用年数も過ぎており、部品の調達も困難になっている。告知端末機の導入もあるが、出来るだけ修繕をし、しばらくは使用していきたい。

また、総合行政ネットワークとは、災害時に迅速・確実な通信網の確保のため、北海道と市町村を結ぶ専用回線で、平成6、9年に整備されたが、今回、更新時期を迎え、当核自治体が一歩負担して設置する。

◆教育費◆ **高橋委員** 幌延小学校と問寒別小中学校に設置された太陽光発電電での程度光熱水費が抑えられたのか。

伊藤教育主査 幌延小学校の太陽光発電電量は1万6千kWで金額推計19万7千円程度、問寒別小中学校にお

いては8千kWで9万8千円程度と考えられる。

歳入の質疑

植村委員 個人税収入が23年度予算額より増えているが、その根拠を伺いたい。

早坂主査 23年の税制改正に伴い24年度より扶養控除や特定扶養控除などの見直しが生じた原因。

西澤委員 情報通信施設管理費負担金収入を7百47万4千円見込んだ理由は。

古草主査 NTT東日本のIRU契約に基づく光ファイバーの加入者数で歳入が決まる。

23年度実績で3百69件の加入実績を基本に、算出した。

無量谷委員 町税の滞納に関する徴収率向上対策について伺いたい。

早坂主査 町税滞納対策方針としては、まず現年度分を徴収し、新たな滞納を出さないことを目標としている。23年度分での徴収率は向上しているが、一層の徴収努力をしていく。

佐々木委員 地方交付税収入が増額となっているが、国の財政を考えると大丈夫なのか。

藤田主幹 地方交付税は町の歳入の40%を超える大きな財源で、地方財政計画で示されている額は、前年度0.2%増となっている。

計上根拠としては、交付税参入される公債費が増えることなど、前年度の実績を参考とし、慎重に検討し、計上した。

総括の質疑

無量谷委員 有害鳥獣駆除でのカラス駆除対策はどのように進めていくのか。

谷口課長 23年度よりカラス捕獲用ネットを購入し、色々と研究をしながら24年度は成果を出していきたい。

高橋委員 24年度中に自主防災組織などと連携し、避難訓練等を行わないのか。また、防災マップで示された町内危険箇所看板等の設置は考えられないのか。

宮古主幹 自主防災組織は、現在、町内8箇所が設立されている。今後も町内各地区での設立をお願いしており、個人の防災意識の高揚と地域の防災対策を自主的に話合ってほしい。

今後、避難訓練等は自主防災組織と相談しながら進めていきたい。

防災マップで示された危険箇所への看板設置は今後、現地を確認して検討する。

西澤委員 宮本町長就任当初より、消防庁舎を始め色々な事業に取り組んできたと思うが、今、町長とし



役場庁舎屋上から見た幌延市街